

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 市中肺炎/医療・介護関連肺炎の耐性菌出現及び予後に関する後方視研究

[研究責任者] 呼吸器内科・医長 近藤 晃

[研究の背景]

市中肺炎 (community-acquired pneumonia: 以下 CAP)/医療・介護関連肺炎 (nursing and healthcare-associated pneumonia: 以下 NHCAP)は 2022 年度の日本人の死亡原因の第 5 位であり、ここ数年は減少傾向ではあるが依然として高い死亡数で推移しています。

また、感染症全般として耐性菌の出現が問題となっており、感染症の中でも特に頻度の多い CAP/NHCAP においては重要な課題となっています。CAP/NHCAP の耐性菌出現頻度を調査した研究は散見されますが、耐性菌別の治癒率などの詳細な報告は存在しません。CAP/NHCAP の初期治療として、耐性菌の出現を考慮した場合は広域抗菌薬を選択しますが、本当に広域抗菌薬に必要があるのか判断が難しい場合もあります。また、広域抗菌薬の不適切使用は耐性菌出現を助長させるおそれがあります。そのため、CAP/NHCAP の耐性菌別の治癒率及びその背景因子を検証したいと考えました。

[研究の目的]

本研究の目的は、CAP/NHCAP において耐性菌毎の出現率とその治癒率を明らかにすることです。また、耐性菌毎の患者背景や治療内容を解析することで、抗菌薬の選択に新たな基準を設定することができ、抗菌薬の適正使用及び耐性菌出現の抑制が期待できます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

- ① 2017 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までに当院を含めた長崎大学病院 および共同研究機関を受診し、CAP/NHCAP で入院した患者さん
- ② 年齢 18 歳以上(性別不問)

●研究期間：医療機関の長の研究実施許可日から西暦 2026 年 12 月 31 日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：

患者背景・臨床症状・身体所見・臨床検査・微生物検査・画像検査・耐性菌リスク因子・治療経過

●検体や情報の管理

情報は、研究代表者機関である長崎大学病院にインターネットを介して提出され、集計、解析が行われます。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：長崎大学病院 呼吸器内科 迎 寛

●その他の共同研究機関：

長崎みなとメディカルセンター 呼吸器内科／澤井 豊光

長崎原爆病院 呼吸器内科／橋口 浩二

長崎県島原病院 呼吸器内科／福田 実

佐世保市総合医療センター 呼吸器内科／福田 雄一

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

呼吸器内科・医長 近藤 晃

電話番号：0957-52-3121（代表）